

平成30年第6回市議会定例会における所信表明

平成30年第6回市議会定例会の開催にあたり、私の所信を申し述べる機会を与えて頂きましたことに深く感謝申し上げます。

まず、私が、初めて市長に就任した4年前を振り返って見ますと、市政の信頼回復というテーマと財政上の課題を抱えた中でのスタートとなり、私自身、責任の重さを痛感していたことを思い出します。

就任当初は、何とか行政への市民の信頼を回復し、厳しい環境を智慧の絞りどころと前向きに受け止め、地域の全ての力を結集して、この難局を乗り越えねばならないという強い思いで、誠心誠意、職務に取り組ませて頂きました。

この間、市議会のご理解ご支援を得て、1期目の5つの公約の実現について取り組んでまいりました。一定の成果を出すことが出来た分野もある一方、まだ粘

り強く継続しなければならないこと、まだまだ課題として残されているものがあることは真摯に受け止めています。

市を取り巻く厳しい環境に打ち勝つ、新しい活力を定着させるためには、これまで以上の積極的な取り組みが求められており、市民の皆様の期待と責任の重さに身の引き締まる思いがしております。

2期目のスタートに当たり、所信の一端を述べさせて頂きますと、私は、これからの数年間が自治体の存続にとって、極めて重要な時期となると考えており、地域産業や人々の暮らしの基盤を強化し、持続性を高めていくための取り組みの適否が、地域の盛衰に直接関わって来ると考えております。

本市としては、国が進める地方創生に向けた取り組みを積極的に進めてまいりましたが、さらに一段と強化したいと考えております。交流人口の増加や移住政策の推進、あるいは民間の投資、ふるさと納税などは

特に域外からの市のイメージに確実に直結することをこの4年で実感しています。市のプロモーション事業にも力を入れてまいります。

また、市の財政面においては、地方交付税の激変緩和期間が本年度をもって終了し、来年度の予算編成から一本算定となります。合併以来の行財政改革努力により、地方債残高や財政調整基金の推移、あるいは財政健全化の指標から、健全な財政運営が確保されてはいますが、これまで以上にふるさと納税の活用、有利な補助金や地方債等の確保に努めるとともに、事業の効果的かつ計画的な執行にさらに努力するなど一層の行財政改革に取り組みます。

上天草市が誕生して15年になりますが、これから橋梁や上下水道など生活インフラや防災行政無線のデジタル化などの防災設備なども含め、安心安全な暮らしに直結する分野で本格的な更新の時期が来ている

ます。天草八代架橋構想の推進、熊本天草幹線道路のさらなる推進とあわせて、市民生活の基盤づくりに努めます。

一方、地域振興を図る上では自治体としての体力も必要です。観光や一次産業をはじめとする基幹産業支援に努める必要があります。前島の観光施設整備、千巖山整備、樋合リゾート開発の推進など緊急喫緊の課題に積極的に取り組むとともに、農林水産業や海運業などの産業については、後継者の育成や基盤整備に努めます。

市民の健康づくりについては、新たに健康ポイント制度を導入し、各種検診率の向上を図り、生活習慣病予防や健康寿命の延伸につなげてまいります。

さらに、老朽化が進む小中学校の校舎改修、とりわけ小中学校の空調設備等教育環境の整備は、緊急課題

であり、既存の計画を前倒しし、平成 31 年度に整備することとします。また学校教育の ICT 化、プログラミング教育への対応など教育環境の整備も着手します。

また、龍ヶ岳保育園の整備や医療費助成制度の高校までの拡大等子ども子育て環境の整備にも引き続き努めてまいります。

最後になりますが、本格的な人口減少社会が到来し基礎自治体を取り巻く環境はこれからもさらに厳しくなっていくものと考えています。それでも上天草市が飛躍し、全ての市民の皆様が、安心安全な暮らしの実現ができるよう、私自身、初心に戻って、全職員の意識を上天草市の明るい未来づくりに糾合し、2 期目の公約実現に向けて、スピード感をもって市政運営に取り組んでまいります。

どうか、市議会の皆様のご理解、ご支援をよろしく
お願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。